



前橋市立第五中学校

3年社会科 授業レポート

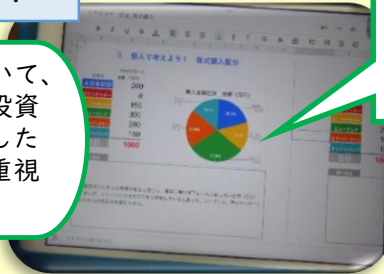
単元名：私たちの暮らしと経済

ねらい：模擬株式投資を通して、投資をする際に重視すべき視点について話し合うことで、企業の役割や責任、投資や株式の仕組みについて多面的・多角的に考察することができる。

前
時
(自力解決)

スプレッドシート

6社の銘柄について、1000万円の投資金を割り振るとしたらどんな視点を重視すべきだろうか。

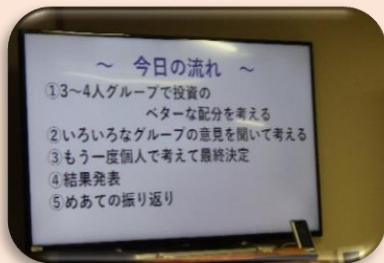


C社はアフターコロナで、これからまた需要が伸びてくると思うから300万円。A社はバイオベンチャー系企業で、経営戦略から今後の可能性を感じるので250万円投資したい。

実在する6企業の「事業内容」「社会的責任」「経営戦略」「労働環境」の視点をもとに、根拠を示しながら投資先を選び、投資金を割り振りました。スプレッドシートに入力すると即座にグラフに可視化されました。

大型モニタ

1 本時の課題をつかむ



大型モニタで前時までの流れ（各生徒が6企業を分担し、社員の立場から自社のPRスライド作成・発表。これを資料に各々が投資先と投資金を決定。）を確認し、本時のめあてを必要感をもってテンポよく設定しました。

Google forms

4 再度、自力解決をする

現在の業績や経営だけでなく、SDGsや労働環境等の企業イメージや責任も踏まえて、投資先を考え直す必要があるな。



全体で考えを共有・整理した後、個に返って自分の考えを再構築しGoogle formsに入力させます。

スプレッドシート

2 集団解決する

A社は伸びている最中だから、まだ、安定しないのでは？

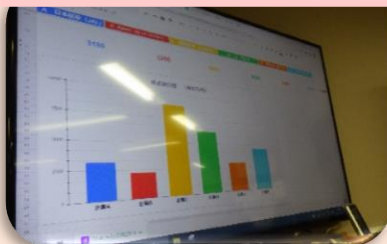


確かに、A社は魅力的だけれども、先が読めない。B社は大手電気通信企業だし、事業内容を見ても子会社が期待できるから400万円投資するのはどう？

自力解決した考えをもとに、グループでよりよい納得解が得られるように投資先や投資金の割り振りを決定します。合意形成できたら、スプレッドシートでグラフ化します。

Google forms

5 全体で焦点化する



一人一人が最終決定した投資金の割り振りをGoogle formsで集計・共有することで、全体の株式発行額を即時にグラフ化して投資先の傾向や変容、全体の特徴を的確に捉えさせ、焦点化していました。

大型モニタ

3 全体で各グループの考えを発表し合い、多面的・多角的な考察を広げる

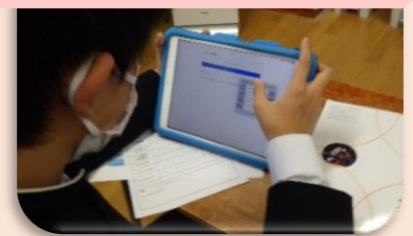
7班はA社に対して、将来性よりも労働環境に注目して、多く投資しているようだけれども、これはどうして？



教師は教師用端末で各グループのスプレッドシートをライブモニタリングし意図的指名に活かし、限られた時間内で様々な視点を多く表出させ、生徒の思考の流れを整理していました。

Google Classroom

6 本時の振り返りをする



振り返りをGoogle Classroomに記入させることで、瞬時に友達の振り返りを全体で共有しました。このことにより、株式投資の可能性や新たな視点について生徒の気づきを広げることができました。